

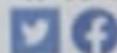
シルバー新報

発行所：環境新聞社

東京都新宿区西谷3-1-3(第一富澤ビル)

電話 03(3359)5372

大阪市中央区久太郎町3-1-15(メビウスビル) 電話 06(6252)5895



2021年(令和3年)

1月22日

(金曜日)

介護の文化を創る専門紙

年間購読料 21,000円(税別)

目次

病床ひっ迫時の入所継続に留意点……4面

障害者雇用、半数企業が未達成……6面

高齢者施設職員に無料でPCR検査…7面

どんな人にもオシャレな洋服を！……8面

新介護報酬答申 全サービスで基本報酬アップ

人員基準緩和、アウトカム評価推進で「負担増」の火種も

2021年度介護報酬改定の主な事項(加算)

<認知症への対応力向上>

【訪問介護、訪問入浴、夜間対応型、定期巡回】

▽認知症専門ケア加算

(I) 3単位/日(新設)

(II) 4単位/日(新設)

【小規模多機能型、看護小規模多機能型】

▽認知症行動・心理症状緊急対応加算

200単位/日(新設)

<ケアマネジメントの質の向上と公

【デイ、地域密着型デイ】

▽個別機能訓練加算

(I) イ 56単位/日(改定)

(I) ロ 85単位/日(改定)

(II) 20単位/月(新設)

●口腔スクリーニングや栄養ケア・マネジメントの強化

【通所系、多機能系、居住系サービス】

▽口腔・栄養スクリーニング加算

(I) 20単位/回(新設)

(II) 10単位/回(新設)

厚労省が18日に分科会に提示した新単価案では、現在施設やショー

今回の報酬改定は9月までの半年間、コロナ対応のための特例措置が0・05%含まれる上でのプラス0・7%改定となり、厚労省が18日に分科会に提示した新単価案では基本報酬は全サービスで引き上げとしたが、重点事項への対応はやはり加算が中心となった。

認知症への対応力向上では、現在施設やショー

今回の報酬改定は9月までの半年間、コロナ対応のための特例措置が0・05%含まれる上でのプラス0・7%改定となり、厚労省が18日に分科会に提示した新単価案では基本報酬は全サービスで引き上げとしたが、重点事項への対応はやはり加算が中心となった。

認知症への対応力向上では、現在施設やショー

厚労省介護給付費分

厚生労働省の社会保障審議会介護給付費分科会(委員長)が18日に開かれ、4月1日からの報酬改定案が示された。改定率プラス0・7%を答申された。改定率プラス0・7%を軒並みアップしたものの、効率化のな

感染症・災害対策の義務化、アウトカム評価の推進、新たな業務負担増になる

要に応じて検証と見直しを行うとした

パブリックコメントを経て正式に告示

株式会社カラース代表取締役

田尻 久美子 氏(2)

現場に携わるために介護を一旦学びたいと考え、その後訪問介護の経験を積みました。訪問介護では、IT業界では出会うことのないような様々な方に出会うことができます。いろいろな方の生き様や価値観に触れ、いかに自分が井の中の蛙だったかを痛感しました。介護の仕事を通して、母に対してはできなかった「その人の言葉の裏側にある気持ち」を想像することで、少しでも利用者の気持ちに寄り添おうとしてきました。

その後、在宅介護の仕事にすっかり魅了された私は、自分の親や大切な人に勧められるような品質のサービスを提供し、同時に働く人もやりがいを持つ

在宅介護に魅了され起業
育児も重なり多忙な日々

り切ることができました。サポートがなかったらと思うとぞっとします。

そして、同じように子育てをしている方の中には、周囲にサポートしてくれる人がおらず大変な思いをしている人が少なくないのではないかと、そんな方には手助けが必要なのではないだろうか——と思い至りました。特に産後間もない時期は、慣れない育児とホルモンの乱れで心身共に負担が大きくなります。「そんな方々をサポートしたい」。その思いが後にカラースで産前産後や子育て支援事業を展開することにつながりました。

会社経営と育児。毎日あわただしい生活を送る中、追い打ちをかけるような出来事が起きました。当時66歳だった父の肺がんが発覚したのです。(続く)



自身の経験から子育て支援事業を始めた。田尻さん(右から2番目)と娘、双子の息子たち

母が48歳で亡くなるまでの闘病中、母の辛い気持ちに寄り添えなかった後悔から一念発起し、勤めていたIT企業を退社し介護業界に入りました。

資格も持たずに業界に飛び込んだ私は、在宅介護会社の人事部に配属され採用や教育を担当することになりましたが、やはり介護

て働ける会社を自ら運営していきたいと考え、志を同じくする人たちと共に株式会社カラースを開業するに至りました。

カラースを開業したとき、私は初めての妊娠中でもありました。育児を甘く見ていた私は、育児と仕事の両立はマネジメントで何とかなるものと考えていました。しかし、開業1カ月後に長女が産まれてみると、「そうはいかないよ、ママ」という長女の声が聞こえるかのように、全く思うよう